

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

# 東京農業大学教職課程

## *Annual Report*

令和元年度版

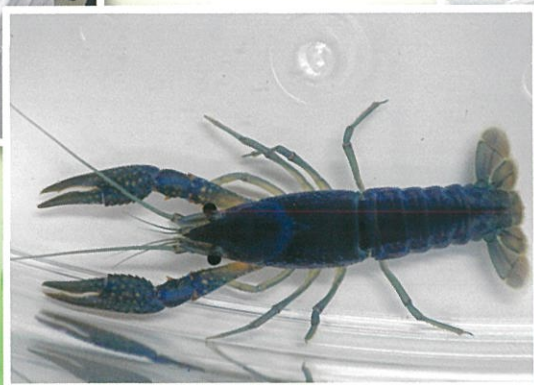


## *Tokyo NODAI-style*の教員養成

いきものいくせい

# 生物育成

農学ベースの科学教育への挑戦



# 平成30年度 農大教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な活動報告

- 4月** 新入生教職課程ガイダンス  
平成31年度教員採用試験直前対策講座開講  
教育委員会による教員採用学内説明会（～5月）  
平成31年度教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考
- 5月** 教員採用試験教育法規・学習指導要領勉強会  
教育ボランティア募集説明会  
4年生教育実習開始
- 6月** 教員採用試験1次対策講座開講  
新入生教職課程履修申込ガイダンス  
ホームカミングデー
- 7月** 介護等体験への派遣開始  
1年生教職課程履修申込
- 8月** オープンキャンパス  
免許状更新講習開催  
教員採用試験2次対策講座開講  
夏季若手教員研修会開催  
高大連携（農業実習）  
免許法認定講習開催

- 9月** 平成32年度教員採用試験対策講座開講  
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ  
教職実践演習開講



- 10月** 1年生教職課程履修開始

- 11月** 収穫祭  
教職実践演習（現地演習）学内説明会  
教育研究フォーラム  
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ  
教育委員会による教員採用学内説明会（～12月）

- 12月** 世田谷・厚木合同第5回教育実習全体指導  
高大連携（学生による出張授業）

- 2月** 現地演習報告会

- 3月** 卒業式（教員免許状授与）



## 本学で取得できる免許状※

### ■普通免許状

学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
<b>農学部</b>		
農学科	理科	理科・農業
動物科学科	理科	理科・農業
生物資源開発学科	理科	理科・農業
デザイン農学科	—	農業
<b>応用生物科学部</b>		
生物応用化学科	理科	理科・農業
醸造科学科	理科	理科
食品安全健康学科	理科	理科・農業
栄養科学科	理科	理科
<b>生命科学部</b>		
バイオサイエンス学科	理科	理科・農業
分子生命化学科	理科	理科・農業
分子微生物学科	理科	理科・農業
<b>地域環境科学部</b>		
森林総合科学科	理科・技術	理科・農業
生産環境工学科	理科・技術	理科・農業
造園科学科	理科	理科・農業
地域創成科学科	—	農業
<b>国際食料情報学部</b>		
国際農業開発学科	理科	理科・農業
食料環境経済学科	社会	地歴・公民・農業
国際バイオビジネス学科	—	農業
国際食農科学科	—	農業

### ■栄養教諭免許状

学 科	免許状の種類
応用生物科学部 栄養科学科	一種免許状

## 教員採用試験対策講座 —若手先輩教員から学ぶ—

教員採用試験対策講座では例年「若手先輩教員から学ぶ」と題して、首都圏に勤める新規採用1～2年目のOBOG教員を招き、「教員採用試験合格への道」を伝授していただいております。今回は第1回目が平成30年9月22日（土）午後、川崎市立有馬中学校・理科教諭の野田真一郎先生、横浜市立樟町中学校・理科教諭の名波優花先生、東京都目黒区立第七中学校・技術科教諭の東佑輔先生の3名、第2回目は平成30年12月1日（土）午後、埼玉県日高市立高麗川小学校・栄養教諭の高橋萌先生、埼玉県立越ヶ谷高等学校・理科教諭の勝田ゆり乃先生、東京都立農芸高等学校・農業科教諭の石井陽次先生の3名が来学されました。学生時代の教育実習の様子、教員採用試験までの準備方法と実際の面接試験や模擬授業などの工夫点、さらに初任者教員として学校現場で奮闘している様子を語っていただきました。後半では受講学生一人一人の質問や悩み事に丁寧にアドバイスするなど、教員を目指す後輩たちに大きな力と勇気を与えていただきました。



# 平成30年度 教職課程履修者数

学年	1年生										2年生										3年生										4年生									
	人数	農業	中学位理	高学位理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学位理	高学位理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学位理	高学位理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学位理	高学位理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養
農学科	32	22	13	16	*	*	*	*	*	*	36	18	12	19	*	*	*	*	*	*	31	23	14	16	*	*	*	*	*	*	33	21	21	21	*	*	*	*	*	*
動物科学科	22	8	17	18	*	*	*	*	*	*	35	23	18	20	*	*	*	*	*	*	20	18	13	14	*	*	*	*	*	*	29	16	19	18	*	*	*	*	*	*
生物資源開発学科	24	8	16	17	*	*	*	*	*	*																														
デザイン農学科	10	10	*	*	*	*	*	*	*	*																														
バイオセラピー学科											11	3	7	9	*	*	*	*	*	*	15	2	14	14	*	*	*	*	*	*	40	18	30	30	*	*	*	*	*	*
厚本 計	88	48	46	51	0	0	0	0	0	0	82	44	37	48	0	0	0	0	0	0	66	43	41	44	0	0	0	0	0	0	102	55	70	69	0	0	0	0	0	0
生物応用化学科	8	3	8	8	*	*	*	*	*	*	19	4	16	17	*	*	*	*	*	*	12	0	12	12	*	*	*	*	*	*	16	1	16	16	*	*	*	*	*	*
醸造科学科	11	*	10	11	*	*	*	*	*	*	5	*	5	5	*	*	*	*	*	*	8	0	8	8	*	*	*	*	*	*	10	*	10	10	*	*	*	*	*	*
食品安全健康学科	4	0	4	4	*	*	*	*	*	*																														
栄養科学科	20	*	1	1	*	*	*	*	*	*	22	*	5	6	*	*	*	*	*	*	21	27	*	8	9	*	*	*	*	*	26	26	*	4	5	*	*	*	*	23
バイオサイエンス学科	25	5	24	25	*	*	*	*	*	*	19	3	18	18	*	*	*	*	*	*	25	5	23	24	*	*	*	*	*	*	25	1	24	25	*	*	*	*	*	*
分子生命科学科	17	2	16	16	*	*	*	*	*	*	10	1	10	10	*	*	*	*	*	*																				
分子微生物学	15	4	13	15	*	*	*	*	*	*	17	3	16	16	*	*	*	*	*	*																				
森林総合科学科	13	4	9	10	3	*	*	*	*	*	16	12	12	12	7	*	*	*	*	*	36	21	25	25	18	*	*	*	*	*	29	12	24	25	17	*	*	*	*	*
生産環境工学科	22	7	14	15	12	*	*	*	*	*	10	4	8	8	3	*	*	*	*	*	21	8	20	20	6	*	*	*	*	*	22	7	16	16	9	*	*	*	*	*
造園科学科	14	11	5	5	*	*	*	*	*	*	9	7	6	6	*	*	*	*	*	*	10	6	7	7	*	*	*	*	*	*	9	7	6	7	*	*	*	*	*	*
地域創成科学科	7	7	*	*	*	*	*	*	*	*	4	4	*	*	*	*	*	*	*	*																				
国際農業開発学科	26	23	13	15	*	*	*	*	*	*	32	22	24	25	*	*	*	*	*	*	36	18	31	31	*	*	*	*	*	*	35	19	23	24	*	*	*	*	*	*
食料環境経済学科	25	15	*	*	*	10	13	5	*	*	24	13	*	*	*	7	15	11	*	*	33	15	*	*	*	13	19	16	*	*	35	21	*	*	*	13	20	17	*	*
国際バイオビジネス学科	10	2	*	*	*	8	*	*	3	*	11	7	*	*	*	1	*	*	7	*	11	7	*	*	*	1	*	*	6	*	10	6	*	*	*	6	*	*	5	*
国際食農科学科	6	6	*	*	*	*	*	*	*	*	6	6	*	*	*	*	*	*	*	*																				
世田谷 計	223	89	117	125	15	18	13	5	3	20	204	86	120	123	10	8	15	11	7	21	219	80	134	136	24	14	19	16	6	26	217	74	123	128	26	19	20	17	5	23
北方圏農学科	23	23	*	*	*	*	*	*	*	*	18	18	*	*	*	*	*	*	*	*	7	7	*	*	*	*	*	*	*	*	17	17	*	*	*	*	*	*	*	*
海洋水産学科	11	*	10	11	*	*	*	*	*	*	18	*	18	18	*	*	*	*	*	*	14	*	13	13	*	*	*	*	*	*	17	*	16	17	*	*	*	*	*	*
食香粧化学科	8	*	8	8	*	*	*	*	*	*	9	*	9	9	*	*	*	*	*	*	7	*	7	7	*	*	*	*	*	*	5	*	5	5	*	*	*	*	*	*
自然資源経営学科	9	*	*	*	5	*	9	*	*	*	11	*	*	*	6	*	11	*	*	*	9	*	*	*	5	*	9	*	*	*	7	*	*	*	2	*	6	*	*	*
オホーツク 計	51	23	18	19	0	5	0	9	0	0	56	18	27	27	0	6	0	11	0	0	37	7	18	20	0	5	0	9	0	0	46	17	18	22	0	2	0	6	0	0
大学 計	362	160	181	195	15	23	13	14	3	20	342	148	184	198	10	14	15	22	7	21	322	130	193	200	24	19	19	25	6	26	365	146	211	219	26	21	20	23	5	23

\*各学年、入金実績より算出

## 第21回東京農大教育研究フォーラム

平成30年11月23日(金)に中高教員と地域の方々、教職課程履修生を対象として、世田谷キャンパス1号館132教室にて開催されました。講師は根の研究の第一人者として活躍されている本学農学部デザイン農学科教授森田茂紀先生、



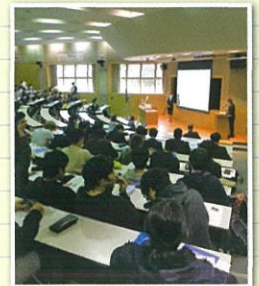
また、羊・山羊のご専門家である長年教育現場でご指導されたのち本学農学部理科教育で教鞭を取られている本学教職・学術情報課程教授苗川博史先生のお二人。森田先生には「バイオマス作物の栽培研究から考える農業と環境」と題して、持続的社會を目指した再生可能エネルギーとしてのセルロース系バイオエタノール原料作物の研究戦略についてご講演いただきました。何を、どこで、どのように栽培するのかの具体的な選定過程、また、原料作物として選定したエリアンサスとネピアグラスの栽培実験により土壌の肥沃化とつながる根の研究の重要性についてわかりやすく解説いただきました。また、苗川先生には「大学理科教育における『今日一品』」と題して、5年間にわたる本学農学部教職課程での理科教育の集大成をご講演いただきました。現場経験を踏まえ生徒の興味・関心を引き出すような授業展開を目指し、授業の導入に使えるものを「今日一品」として「理科教育法」で紹介されています。生徒の身近なものからサイエンスに繋げるように心がけ、授業教材の工夫と改良を常に追究されています。フォーラムではご自身で収集された野生の鹿の角や、哺乳類の頭骨の回覧や目の錯

覚実験など、実物を見せる、実験観察主体の授業実践をご披露され、会場も大いに盛り上がりました。両先生ともに平成31年3月でご定年を迎えられましたが、教育・研究活動において一層のご活躍と農大生への絶え間ないご支援を約束して下さいました。



## 2018オホーツク教育科学アカデミー

平成30年11月10日(土)、オホーツクキャンパスでの本年度の教育科学アカデミーが開催され本学教職・学術情報課程主任上原巖教授が出席されました。昨年までは教職課程で学ぶ3年生が参加していましたが、今回は2年生も参加し、発表数も増え、とても盛況のアカデミーとなりました。テーマは、運動、食、香り、音、そして色。



それぞれの視点から、いかに学習効果を上げ、学習環境を改善できるかなどについての様々な研究発表が行われました。内容はどれもユニークで、その初々しい姿勢、気持ちも終始伝わる発表でした。教育研究には、農、生命、健康などの領域と連関することによって、まだまだ多様な可能性があることも示されたアカデミーでした。



## 平成30年度ベストティーチャー賞

教職課程技術科教育研究室実野雅助教が「2018年度ベストティーチャー賞」を受賞し、6月16日(土)の「創立記念を祝う会並びに第18回東京農大ホームカミングデー」で表彰されました。東京農大技術科教育は木材加工・金属加工・機械などの「ものづくり」に定評があります。



## 平成30年度 教育実習への取り組み： 実践的指導力を育む



### 教育実習全体指導

本学教職課程では、教育実習に向けた個別指導および全体指導を行っています。特に毎年12月には百周年記念講堂にて講演会を催し、「教育実習に臨むにあたっての心構え」についてご教授頂いております。平成30年度は船橋希望中学校の菅野茂男校長先生と本学卒業生でもある室田友紀子先生にご登壇頂きました。ご講演では合理的配慮や、仕事のやりがいについて、ご自身の経験を踏まえた大変貴重なお話をお聞きすることができました。また、栄養教諭志望者に対するの全体指導では全国学校栄養士協議会の長谷川啓子先生より、具体的な栄養指導の様子やその意義についてお話し頂きました。



## 教職実践演習の取組

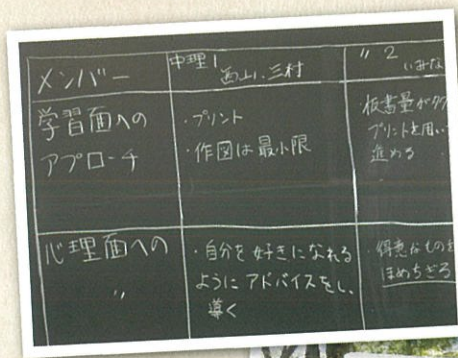


### 教職実践演習の内容

教職実践演習は「全学年を通じた学びの集大成」として、4年次後期に開講されます。この趣旨を達成するために、事例研究、フィールドワーク、模擬授業、教材開発などを取り入れています。

フィールドワークは近隣の学校にお願いして、学校公開期間中の授業を見学して用紙に記録されました。この場を借りて、平成30年度秋に学生の授業見学を受けて下さった世田谷区立桜丘中学校、世田谷区立笹原小学校、厚木市立南毛利中学校にお礼申し上げます。

教員採用試験に合格し4月から教員に採用される学生には、公立中学校や農業高校での5日間の「現地演習」を課しています。



## 平成30年度 第5回夏期若手教員研修会

本年度の「夏季若手教員研修会」は第5回を迎えました。「身近な動植物、材料を用いた教材体験」というテーマで研修を行い、本学教職課程武田晃治准教授が高校生物学実験用に開発したFADの酸化還元反応を視覚化した実験紹介を行いました。その後、講師として一般財団法人進化生物学研究所の加納一三先生をお招きし、進化生物学研究所バイオリウム内の様々な熱帯植物やワオレムールなどの哺乳動物、また研究所内で飼育されて

いるハイギョなどの古代型魚類の特徴や進化的な形態などについて、見学を通じて学びました。



# 教職課程研究室訪問



## 農業科教育研究室 村上敏文教授

村上先生は、農研機構（農林水産省系の研究機関）に長く研究職として勤められ、平成30年4月に本学に着任されました。現在農業高校の先生方と連携し、学理と実践を融合した農業科教育法の開発に取り組んでおられます。着任後1年たった今の思い、今後の抱負について、農学部畜産学科3年池内美里さん、小宮山大夢さん、小室日向子さんの3名がお話をうかがいました。

- Q.** 先生は長く研究機関にいらしたと伺っていますが、教えることについてはどのようにお考えですか？
- A.** 教えた経験は農業大学校の講義、大学の農学系集中講義、高校生夏の学校、在外研究員時代の日本語教授など多数あります。また、赤十字の救急法指導員のボランティアを20年近くやっていて、受講生の技能が上達したり、その受講生が指導員になったりするのを見るのはこの上なく嬉しいという経験をしています。人にわかりやすく伝えるという、教育的なことに情熱を持っているのだと思います。
- Q.** 先生の著書の『まんがでわかる土と肥料』はその思いが詰まった本ということですね。
- A.** そうですね。難しくてわからないと言われる土壌肥料の話を、ギャグマンガでわかりやすく解説したもので、マンガも自分で描きました。農業技術の本でありながら、恋、お金、お酒の話が出てくるトンデモ本ですが、おかげさまでぼちぼち売れているようです。
- Q.** 1年間授業を担当されてみていかがでしたか。

**A.** 一言で言えば手探り&自転車操業ですね。授業の目標は、農業高校の教員に必要な知識と技能、そして豊かな人間性を身につけてもらうということにあります。教科教育法は教え方の知識・技術を教えるわけですから、授業が下手だと面目まるつぶれになります。毎回重圧を感じ、サザエさん症候群を患っていました（日曜日の夜6時半にあのテーマが流れると気分が落ち込む）。一方で、高校教員の経験がない分、固定観念もなく、どんどん新しい方法を試して、どんどんしくじったと言えます。

**Q.** これからの抱負をお聞かせいただけますか？

- A.** これまでの授業では、吉川英治の有名な言葉「我以外皆我師」を使って、どんな人にも自分にはない長所があるので、それを認め、敬意を持って接するべしというメッセージを送り続けてきました。これは、教員として最も重要な、人や世界を尊重するという姿勢なので、今後も言い続けたいと思います。それから、産業カウンセラーあるいはキャリアコンサルタントとして、学生の皆さんが、自ら進路を決断できるように支援をしていきたいと考えています。研究については、現在ストップしていますが、もともとの専門分野である根を使い、教材開発をすすめたいと思います。
- A.** 貴重なお話をありがとうございました。さらにパワーアップした農業科教育法を楽しみにしています。

## 学生 MEMO

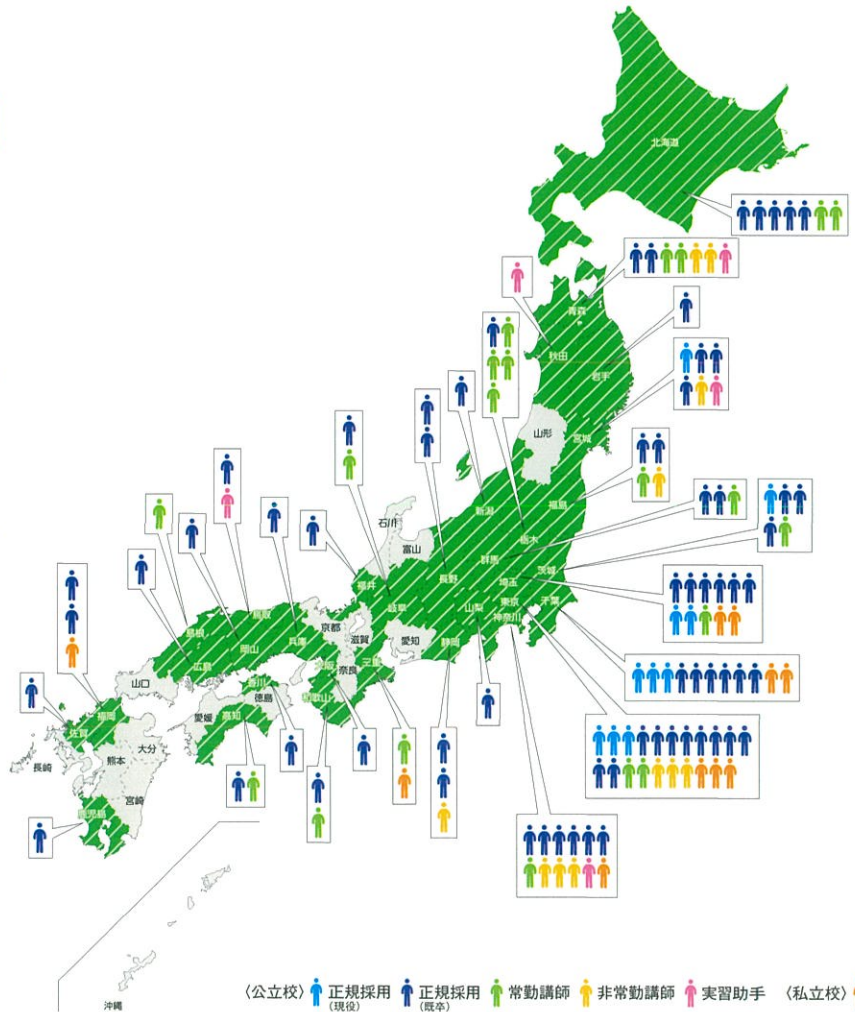
村上先生のお爺さまが本学卒業生とのこと。  
東京農大への愛着と情熱を感じました！



# 平成31年度 教員採用者数&合格者の声

採用種別	人数
● 正規採用 (公立)	77 (67)
● 常勤講師 (公立)	21 (2)
● 非常勤講師 (公立)	9 (3)
● 実習助手 (公立)	5 (2)
● 正規採用 (私立)	2 (1)
● 常勤講師 (私立)	3 (0)
● 非常勤講師 (私立)	6 (3)
<b>総計</b>	<b>123 (78)</b>

※平成31年4月12日現在。カッコ内は既卒者。  
※大学院生・科目等履修生は既卒者扱い。



(公立校) 正規採用 (現後) 正規採用 (既卒) 常勤講師 非常勤講師 実習助手 (私立校)

※公立校正規採用合格者数の集計につきましては、全国の各教育委員会にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

## 広島県公立中学校合格 (理科)



私は学部卒業時には教員を目指していませんでしたが、院進学後、塾講師のアルバイトを始め、そこで生徒に教えることや成長を見守ることに興味を持ちました。研究を通して論理的思考力や後輩への指導力を身につけました。周囲に教員志望はおらず、励まし合う仲間はいませんでした。試験を通して周囲に流されない強さを身に付けることができました。

(農学研究科畜産学専攻・平成31年3月修了)



## さいたま市公立学校合格 (栄養教諭)



学科の勉強と教職課程の両立は大変でしたが、部活動にアルバイトに遊びに盛りだくさんな4年間でした。弱い自分に負けそうになり、教員になりたいという気持ちが揺らぐこともありましたが、指導して下さった先生方と同じ目標を持つ仲間のお陰で教員採用試験を乗り越えられました。

(栄養科学科・平成31年3月卒)

## 東京都公立中学校合格 (理科)



元々教員志望で、教員免許をとるために大学選びをした私ですが、農大で学んで本当に良かった。3年後期から始まった対策講座では同じように教員を目指す仲間に出会うことができ、切磋琢磨しながら勉強できました。今しかできないことを大切に頑張ってください。

(生産環境工学科・平成31年3月卒)

## 令和元年度 教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な年間スケジュール

- 新入生へのガイダンス<4月>
- 教育委員会、東京私立中学高等学校協会担当者による学内説明会<4月～5月>
- 学校ボランティア説明会<4月～5月>
- 教育実習生の派遣<5月～11月>
- 新入生（1年次生）教職課程履修申し込み<6月>
- 富士生物野外研修<7月6日(土)>
- 介護等体験への派遣<3年次 7月～2月>
- オープンキャンパス<8月>
- 令和元年度免許状更新講習の開催<8月4日(日)～8日(木)>
- 夏季若手教員研修会の開催<8月11日(祝日)>
- 令和元年度免許法認定講習<8月20日(火)～23日(金)>
- 教員採用試験対策講座の開催（世田谷・厚木キャンパス）<9月～翌年8月><講座全36回、模擬試験3回予定>
- 教育研究フォーラムの開催（世田谷キャンパス）<10月19日(土)>
- 教職実践演習（現地演習）学生派遣<11月～翌年2月予定>

## 令和元年度夏季若手教員研修会

日時：令和元年8月11日(山の日のため祝日) 13:00～16:00

場所：東京農業大学 15号館 3階生物学実験室

講師：東京農業大学教職課程 武田晃治・加納一三

研修内容：植物組織培養における基本講習と色に着目した教材体験

普段の授業では教えにくい無菌操作などの基本技術を体験します。また、本学教職課程で開発している色に着目した教材体験も行います。

## 令和元年度 免許状更新講習

日時：令和元年8月4日(日)～8日(木)

受講対象：中学校技術・中学校理科・高等学校理科・高等学校農業のうち、いずれかの免許状所持者

受講定員：60名（受講料 35,000円）

講義内容：必修領域 「教育の最新事情」 令和元年8月4日(日) 選択必修領域 「教育の最新事情」 令和元年8月5日(月)  
選択領域 「バイオテクノロジー・プログラミングと木工・地域再生」 令和元年8月6日(火)～8日(木)

応募条件：5日間すべて受講できる方

応募方法：令和元年5月16日(木) 10:00～受付開始予定

東京農大ホームページから「免許状更新講習受講申込書」をダウンロードし、メールでの申し込みとなります。（先着順）

## 令和元年度 免許法認定講習

日時：令和元年8月20日(火)～23日(金)

受講対象：公立農業関係高等学校勤務の実習助手（教育職員免許状未取得者）

受講定員：40名

応募条件：勤務成績が良好で学校長の推薦がある者

応募方法：詳細は教職学情課（03-5477-2512）へ。

## 第22回 東京農大教育研究フォーラム

開催日時：令和元年10月19日(土) 13:00～16:00

開催場所：世田谷キャンパス 横井講堂

講演者及び講演題目：全国特別支援教育推進連盟理事長 宮崎英憲

「農業と特別支援教育」

東京農業大学教職・学術情報課程主任・地域環境科学部森林総合科学科教授 上原巖

「自然・野外活動からの特別支援教育へのアプローチ ―私の取り組んだ事例から―」

共催：東京農業大学教職課程／全国教職員部会連絡協議会

後援：東京農業大学校友会／東京農業大学教育後援会

東京農業大学教職課程ホームページ

<http://www.nodai.ac.jp/edu/index.html>

東京農業大学教職課程 Annual Report [令和元年度版] 世田谷・厚木キャンパス編

東京農業大学教職課程

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

教職学情課 03-5477-2512

No.5 2019年5月10日

e-mail:kyosyoku@nodai.ac.jp